

図解 交通年鑑

(平成25年版)



TOTTORI POLICE

鳥 取 県 警 察 本 部

用語の意味

- 1 「交通事故」とは、道路交通法第2条第1項第1号に規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死傷を伴うもの(人身事故)をいう。
 - 2 「死亡」(「死者」とは、交通事故の発生から24時間以内に亡くなった場合をいう。
 - 3 「負傷」(「負傷者」とは、交通事故によって負傷し、治療を要する場合をいう。
なお、負傷の程度の判断は医師の診断に基づく。
 - 4 「第1当事者」とは、交通事故に関係した者のうち、過失の最も重い者、又は過失が同程度である場合には損傷の最も軽い者をいう。
 - 5 「高齢者」とは65歳以上の者、「若者」とは16歳以上25歳未満の者、「子ども」とは中学生以下の者をいう。
 - 6 「事故類型」とは、当事者の行動又は事故誘発行為をもって決定する事故の形態(人対車両、車両相互、車両単独等)をいう。
 - 7 「状態別」とは、当事者の事故当時の状態(運転中、同乗中、歩行中等)をいう。
- * 構成率等については、単位未満を四捨五入してあるため必ずしも表中、文中での数値が一致しない場合がある。

目 次

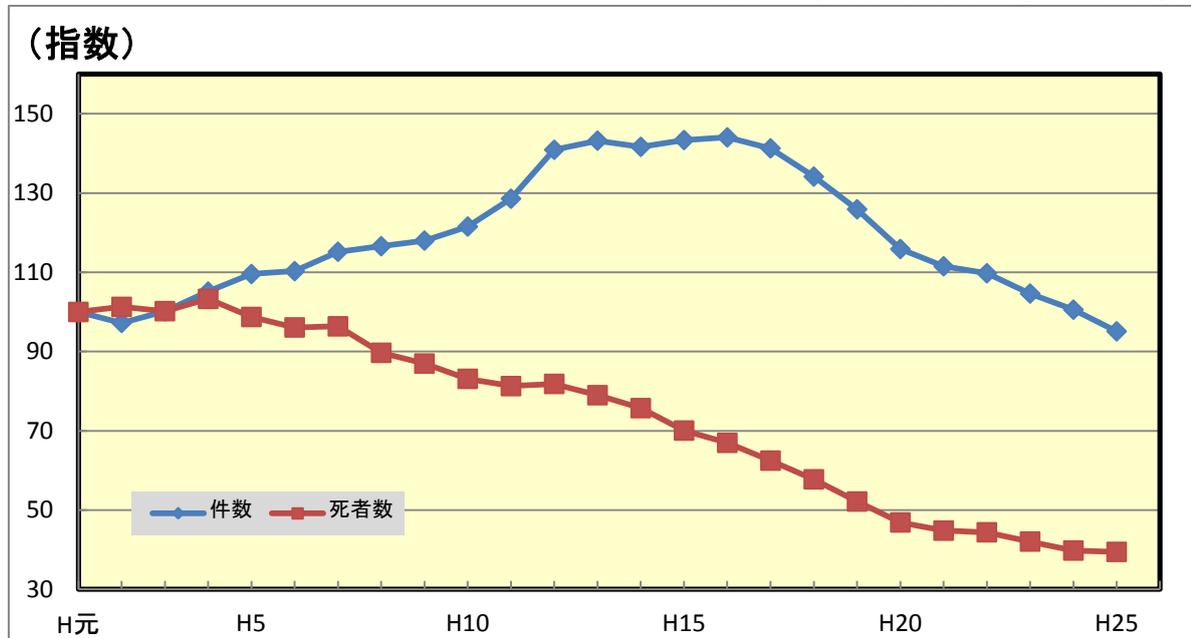
1	全国の交通事故	1
	(1) 全国の交通事故の推移	1
	(2) 都道府県別交通事故死者数	2
2	鳥取県の交通事故	3
	(1) 鳥取県の交通事故の推移	3
	(2) 市町村別発生状況及び人口1万人当たりの発生率	4
	(3) 月別発生状況	5
	(4) 曜日別発生状況	5
	(5) 時間別・昼夜別発生状況	6
	(6) 道路別発生状況	7
	(7) 事故類型別発生状況	7
	(8) 年齢層別死傷者数	8
	(9) 状態別死傷者数	8
3	子供の交通事故	9
	(1) 子どもの交通事故の推移	9
	(2) 学齢別死傷者数	9
	(3) 状態別死傷者数	10
4	高齢者の交通事故	11
	(1) 高齢者の交通事故の推移	11
	(2) 状態別死傷者数	11
	(3) 男女別死傷者数	12
	(4) 高齢者(第1当)事故件数	12
5	歩行者の交通事故	13
	(1) 歩行者の交通事故の推移	13
	(2) 年齢層別死傷者数	13
	(3) 事故類型別死傷者数	14
	(4) 歩行者の違反別死傷者数	14
6	自転車の交通事故	15
	(1) 自転車の交通事故の推移	15
	(2) 年齢層別死傷者数	15
	(3) 事故類型別死傷者数	16
	(4) 自転車の違反別死傷者数	16
7	二輪車(自動二輪・原付)の交通事故	17
	(1) 二輪車の交通事故の推移	17
	(2) 年齢層別死傷者数(二輪車乗車中)	17
	(3) 事故類型別死傷者数	18
	(4) 二輪車の違反別死傷者数	18
8	交通死亡事故発生状況	18
	(1) 年齢層別・状態別死者数	19
	(2) 第1当事者の年齢層別・状態別件数	19
	(3) 第1当事者の状態別・違反別件数	20
	(4) 路線別・道路形状別件数	20

1 全国の交通事故

(1) 全国の交通事故の推移

全国の死者数は13年連続で減少し、発生件数及び負傷者数も9年連続で減少した。

(注) 指数は、平成元年を100とする。



区分 年別	件数	死者数	負傷者数	区分 年別	件数	死者数	負傷者数
昭和47年	659,283	15,918	889,198	5	724,678	10,945	878,633
48	586,713	14,574	789,948	6	729,461	10,653	881,723
49	490,452	11,432	651,420	7	761,794	10,684	922,677
50	472,938	10,792	622,467	8	771,085	9,943	942,204
51	471,041	9,734	613,957	9	780,401	9,642	958,925
52	460,649	8,945	593,211	10	803,882	9,214	990,676
53	464,037	8,783	594,116	11	850,371	9,012	1,050,399
54	471,573	8,466	596,282	12	931,950	9,073	1,155,707
55	476,677	8,760	598,719	13	947,253	8,757	1,181,039
56	485,578	8,719	607,346	14	936,950	8,396	1,168,029
57	502,261	9,073	626,192	15	948,281	7,768	1,181,681
58	526,362	9,520	654,822	16	952,709	7,425	1,183,616
59	518,642	9,262	644,321	17	934,339	6,927	1,157,115
60	552,788	9,261	681,346	18	887,257	6,403	1,098,566
61	579,190	9,317	712,330	19	832,691	5,782	1,034,653
62	590,723	9,347	722,179	20	766,382	5,197	945,703
63	614,481	10,344	752,845	21	737,628	4,968	911,215
平成元年	661,363	11,086	814,832	22	725,903	4,922	896,294
2	643,097	11,227	790,295	23	692,056	4,663	854,610
3	662,392	11,109	810,245	24	665,138	4,411	825,396
4	695,346	11,452	844,003	25	629,021	4,373	781,494

(2) 都道府県別交通事故死者数

都道府県	死者数	人口 当り	車両台数 当り	免許人口 当り	道路実延長 当り	走行台* ₂ 当り	
北海道	184	3.370	0.457	0.543	2.041	0.704	
東北	青森	48	3.556	0.425	0.556	2.422	0.675
	岩手	72	5.526	0.617	0.853	2.167	0.879
	宮城	88	3.785	0.477	0.576	3.532	0.834
	秋田	48	4.516	0.520	0.694	2.015	0.680
	山形	39	3.385	0.371	0.500	2.345	0.523
	福島	79	4.027	0.440	0.605	2.025	0.690
東京	168	1.270	0.330	0.220	6.964	1.044	
関東	茨城	163	5.539	0.589	0.793	2.903	1.018
	栃木	101	5.070	0.541	0.722	4.011	0.902
	群馬	73	3.665	0.379	0.516	2.088	0.730
	埼玉	180	2.496	0.403	0.390	3.840	1.046
	千葉	186	3.002	0.470	0.468	4.607	1.153
	神奈川	168	1.853	0.358	0.302	6.595	1.186
	新潟	107	4.559	0.514	0.676	2.849	0.779
東海	山梨	38	4.460	0.449	0.636	3.398	0.877
	長野	100	4.690	0.477	0.671	2.086	0.871
	静岡	184	4.926	0.575	0.716	5.039	1.188
	富山	53	4.898	0.556	0.709	3.831	0.860
中部	石川	61	5.245	0.648	0.788	4.662	0.931
	福井	57	7.134	0.808	1.051	5.273	1.164
	岐阜	125	6.065	0.702	0.879	4.083	1.074
	愛知	219	2.949	0.400	0.437	4.377	0.889
	三重	94	5.109	0.561	0.743	3.741	0.902
近畿	滋賀	74	5.230	0.644	0.778	5.968	1.076
	京都	70	2.667	0.413	0.440	4.528	0.870
	大阪	179	2.021	0.396	0.351	9.197	1.117
	兵庫	187	3.357	0.527	0.538	5.152	1.045
	奈良	42	3.022	0.421	0.462	3.326	0.826
中国	和歌山	47	4.757	0.500	0.687	3.479	0.958
	鳥取	25	4.296	0.493	0.649	2.843	0.588
	島根	28	3.960	0.460	0.603	1.538	0.581
	岡山	107	5.527	0.619	0.825	3.333	1.050
	広島	116	4.073	0.524	0.623	4.002	0.987
四国	山口	65	4.542	0.544	0.694	3.923	0.763
	徳島	49	6.314	0.706	0.920	3.250	1.022
	香川	55	5.561	0.610	0.807	5.359	1.025
	愛媛	70	4.947	0.572	0.744	3.844	1.021
	高知	42	5.585	0.620	0.850	3.009	0.934
九州	福岡	145	2.852	0.396	0.446	3.881	0.840
	佐賀	46	5.457	0.613	0.809	4.239	0.852
	長崎	47	3.338	0.428	0.543	2.611	0.715
	熊本	82	4.538	0.525	0.684	3.172	0.892
	大分	60	5.063	0.578	0.766	3.282	0.831
	宮崎	59	5.240	0.564	0.767	2.944	0.907
	鹿児島	91	5.385	0.586	0.806	3.354	1.012
沖縄	52	3.691	0.439	0.572	6.447	0.895	
合計	4,373	3.429	0.481	0.534	3.599	0.921	

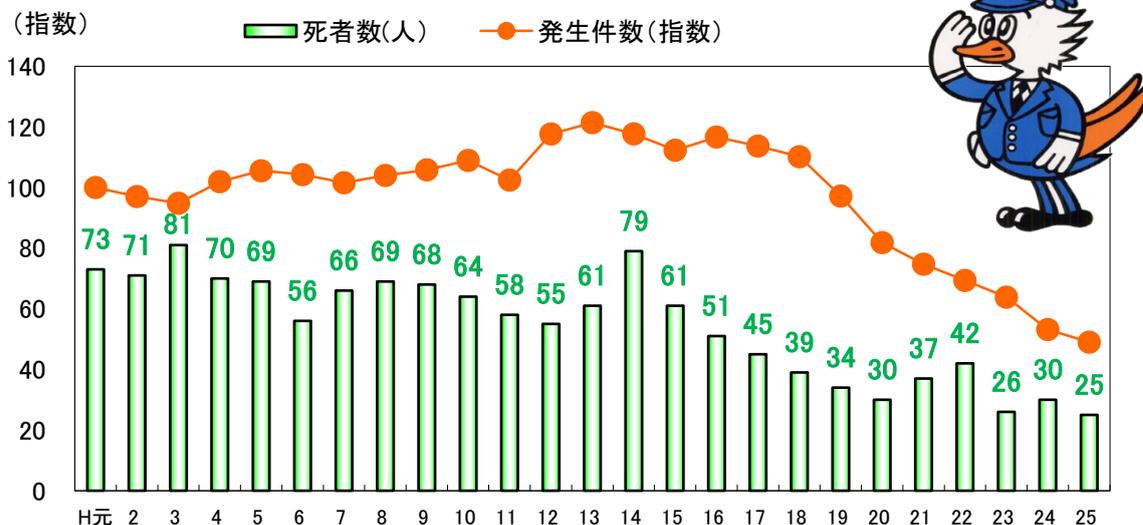
- 注1 「人口当り」は10万人当りの死者数で、算出の基礎となった人口は総務省の平成24年10月1日現在の確定人口である。
- 2 「車両台数当り」は1万台当りの死者数で、算出の基礎となった車両台数は平成25年10月末現在の国土交通省資料による。
- 3 車両台数に含まれている「原付台数」「小特」（ミニカーを含む。）は平成24年4月1日現在の総務省資料による。
- 4 「免許人口当り」は1万人当りの死者数で、算出の基礎となった免許人口は平成25年12月末現在の確定人口である。
- 5 「道路延長当り」は1000km当りの死者数で、算出の基礎となった道路延長は平成24年4月1日現在の国土交通省資料による。
- 6 「走行台*₂当り」は1億走行台*₂当りの死者数で、平成22年道路交通センサスによる路線（一般道路計）の走行台*₂から算出。

2 鳥取県の交通事故

(1) 鳥取県の交通事故の推移

死者数は昨年より5人減少した。

発生件数及び負傷者数は9年連続して減少した。



(注) 指数は、平成元年を100とする。

区分	死者数	区分	死者数	区分	件数	死者数	負傷者数
昭和23年	27	昭和45年	117	平成4年	2,663	70	3,123
24	9	46	134	5	2,757	69	3,175
25	18	47	120	6	2,724	56	3,070
26	24	48	109	7	2,654	66	2,970
27	31	49	72	8	2,717	69	3,103
28	21	50	89	9	2,765	68	3,075
29	32	51	90	10	2,846	64	3,217
30	38	52	61	11	2,677	58	3,413
31	42	53	54	12	3,074	55	3,943
32	34	54	52	13	3,172	61	4,152
33	45	55	61	14	3,075	79	4,051
34	60	56	57	15	2,934	61	3,772
35	38	57	71	16	3,048	51	3,992
36	63	58	69	17	2,970	45	3,905
37	49	59	61	18	2,878	39	3,698
38	55	60	60	19	2,539	34	3,236
39	50	61	58	20	2,138	30	2,733
40	85	62	53	21	1,952	37	2,439
41	87	63	50	22	1,812	42	2,273
42	104	平成元年	73	23	1,668	26	2,076
43	106	2	71	24	1,389	30	1,658
44	112	3	81	25	1,280	25	1,619

(2) 市町村別発生状況及び人口1万人当たりの発生率

	発生件数		死者数		負傷者数		人口*	第一当居住地別	
		1万人当り		1万人当り		1万人当り		発生件数	1万人当り
岩美町	15	12.6		0.0	18	15.2	11,861	23	19.4
鳥取市	466	24.0	5	0.3	595	30.6	194,256	381	19.6
八頭町	21	12.0	1	0.6	28	16.0	17,524	28	16.0
若桜町	2	5.6		0.0	2	5.6	3,544	9	25.4
智頭町	12	16.4	1	1.4	15	20.5	7,309	12	16.4
湯梨浜町	18	10.7		0.0	21	12.5	16,795	25	14.9
三朝町	9	13.4	1	1.5	11	16.4	6,727	11	16.4
倉吉市	92	18.6	6	1.2	108	21.8	49,525	67	13.5
北栄町	22	14.7	1	0.7	29	19.3	14,999	34	22.7
琴浦町	15	8.4		0.0	24	13.4	17,861	19	10.6
大山町	33	19.7		0.0	43	25.7	16,757	28	16.7
日吉津村	19	55.4		0.0	23	67.0	3,432	5	14.6
米子市	445	30.0	5	0.3	552	37.3	148,149	353	23.8
南部町	13	11.6		0.0	18	16.0	11,254	19	16.9
境港市	62	17.8	2	0.6	66	19.0	34,801	76	21.8
伯耆町	22	19.6	3	2.7	47	42.0	11,199	24	21.4
江府町	7	22.2		0.0	12	38.1	3,152	4	12.7
日野町	4	11.6		0.0	4	11.6	3,457	7	20.2
日南町	3	6.0		0.0	3	6.0	5,040	5	9.9
合計	1,280	22.2	25	0.4	1,619	28.0	577,642	1,130	19.6

* 人口は、鳥取県地域振興部統計課資料「鳥取県年齢別推計人口(平成25年10月1日現在)」による。

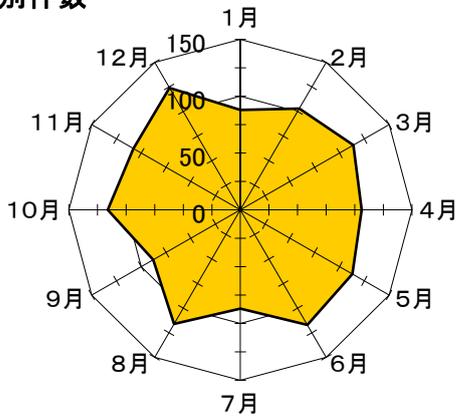
県外者	141
不明	9
総計	1,280

(3) 月別発生状況

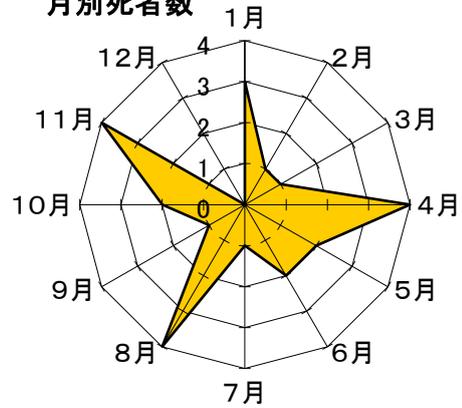
発生件数は、12月、6月の順に多く発生した。また、7月は最も少なく87件であった。

死者数は、8月及び11月が4人と最多であり、12月は0人であった。

月別件数



月別死者数



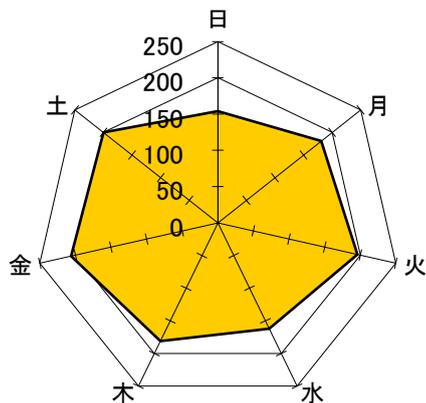
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
発生件数	88	103	114	106	113	117	87	116	88	116	108	124	1,280
死者数	3	1	1	4	2	2	1	4	1	2	4		25
負傷者数	115	142	138	125	160	137	108	143	105	149	151	146	1,619

(4) 曜日別発生状況

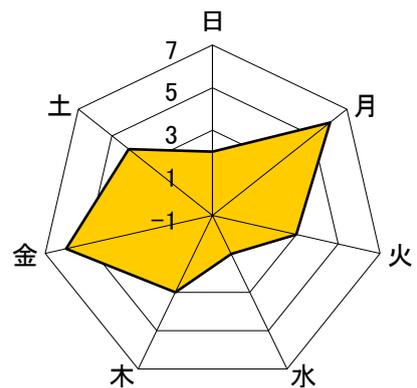
発生件数は、金曜日が206件と最も多く、日曜日が154件で最も少ない。

死者数は、月曜日と金曜日が6人で最も多い。

曜日別件数



曜日別死者数



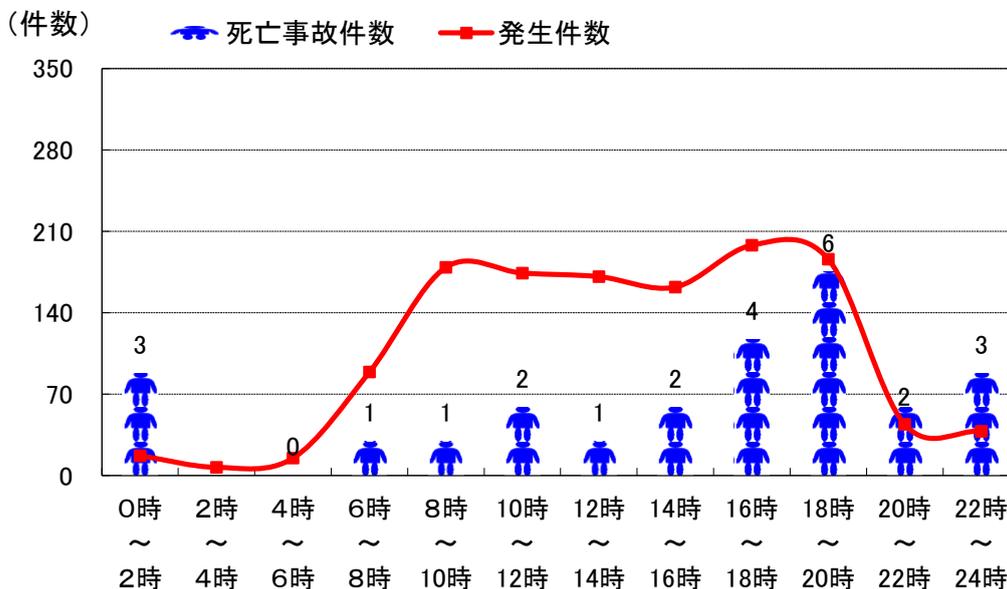
	日	月	火	水	木	金	土	合計
発生件数	154	181	196	162	181	206	200	1,280
死者数	2	6	3	1	3	6	4	25
負傷者数	238	227	238	209	213	247	247	1,619

(5) 時間別・昼夜別発生状況

ア 時間別

発生件数は、6時ころから増え始め、薄暮時間帯に最も多く発生している。

死亡事故は18時から20時の発生が最も多い。

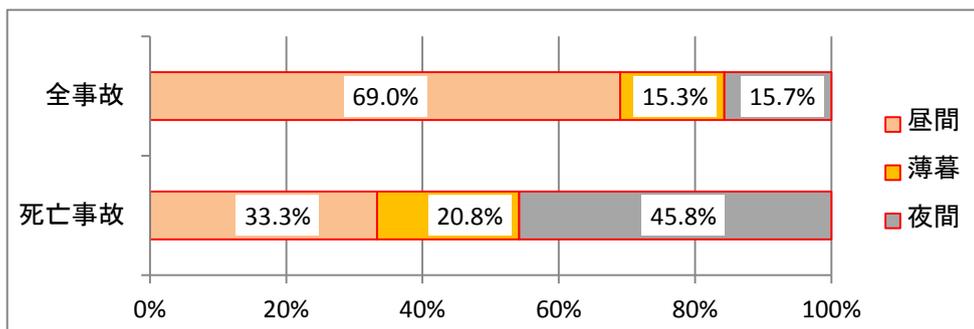


発生時間	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
発生件数	17	7	15	89	179	174	171	162	198	186	44	38	1,280
死亡事故件数	3			1	1	2	1	1	4	6	2	3	24

イ 昼夜別

全事故の69.0%が昼間に発生している。

死亡事故は、夜間が45.8%と最も割合が高い。

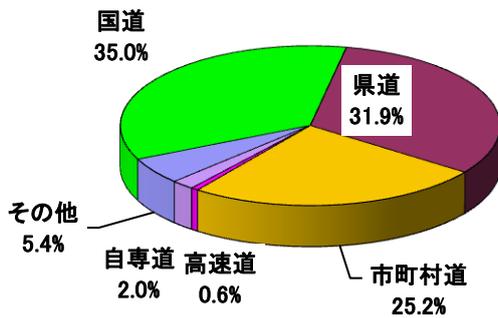


	昼間	薄暮時	夜間	合計
全事故件数	883	196	201	1,280
死亡事故件数	8	5	11	24

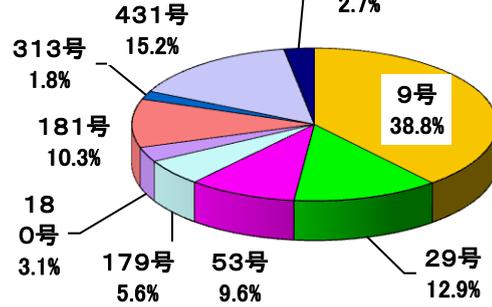
※「薄暮時」は、日没時間前後1時間

(6) 道路別発生状況

道路別発生割合



国道路線別発生割合

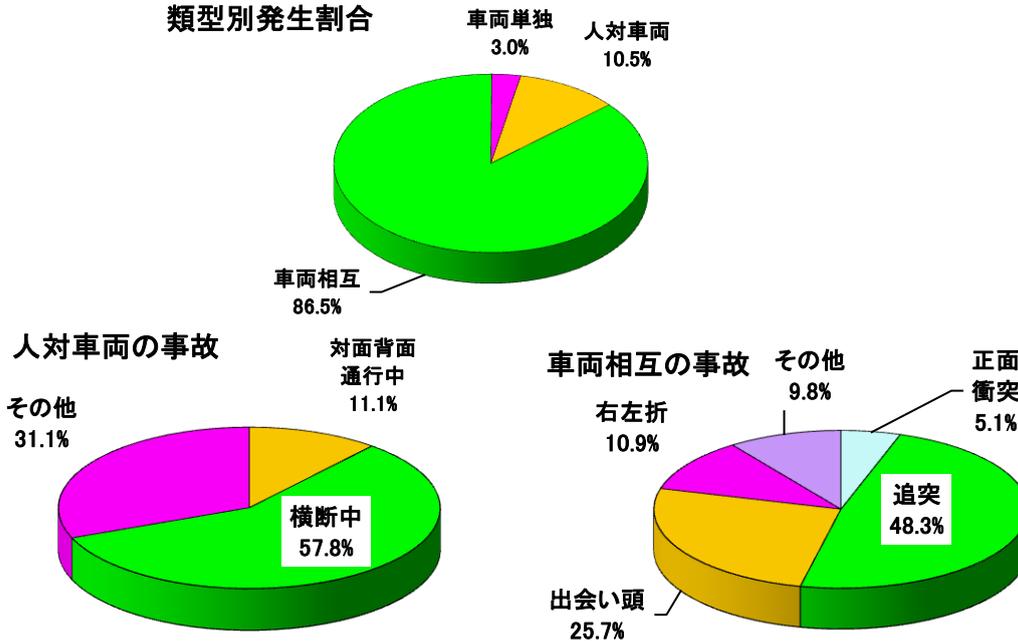


	国 道										計
	9号	29号	53号	179号	180号	181号	313号	431号	その他		
件数	174	58	43	25	14	46	8	68	12	448	

	高速道	自専道	県道			市町村道	その他	合計
			主要	一般	計			
件数	8	25	153	255	408	322	69	1,280

(7) 事故類型別発生状況

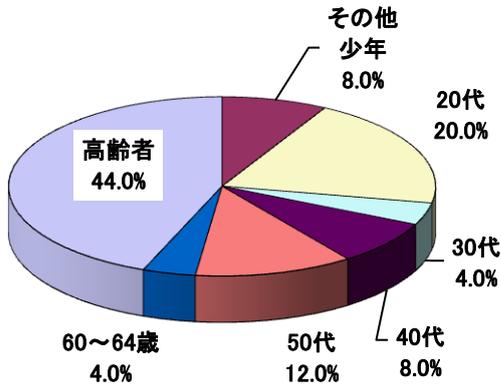
類型別発生割合



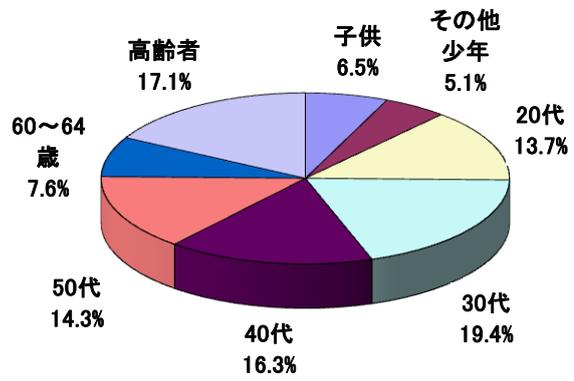
	人 対 車 両			車 両 相 互					車 両 単 独		列車	合計
	対面背面通行中	横断中	その他	正面衝突	追突	出会い頭	右左折時	その他	工作物衝突	その他		
件数	15	78	42	57	535	285	121	109	27	11		1,280
総数	135			1,107					38			1,280

(8) 年齢層別死傷者数

年齢層別死者の割合



年齢層別負傷者の割合

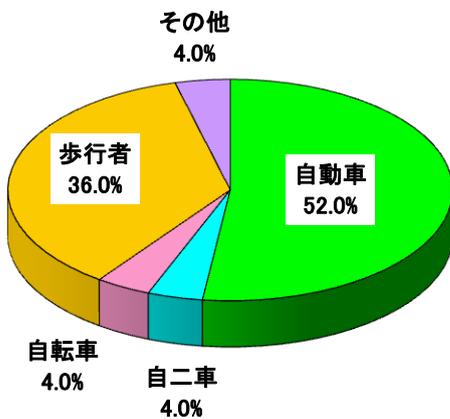


	子ども	その他少年	20代	30代	40代	50代	60~64歳	高齢者	合計
死者数		2	5	1	2	3	1	11	25
負傷者数	106	82	222	314	264	231	123	277	1,619

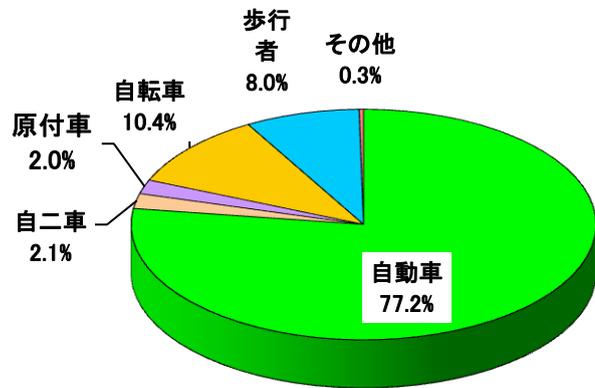
※ 子どもは、中学生以下

(9) 状態別死傷者数

状態別死者の割合



状態別負傷者の割合

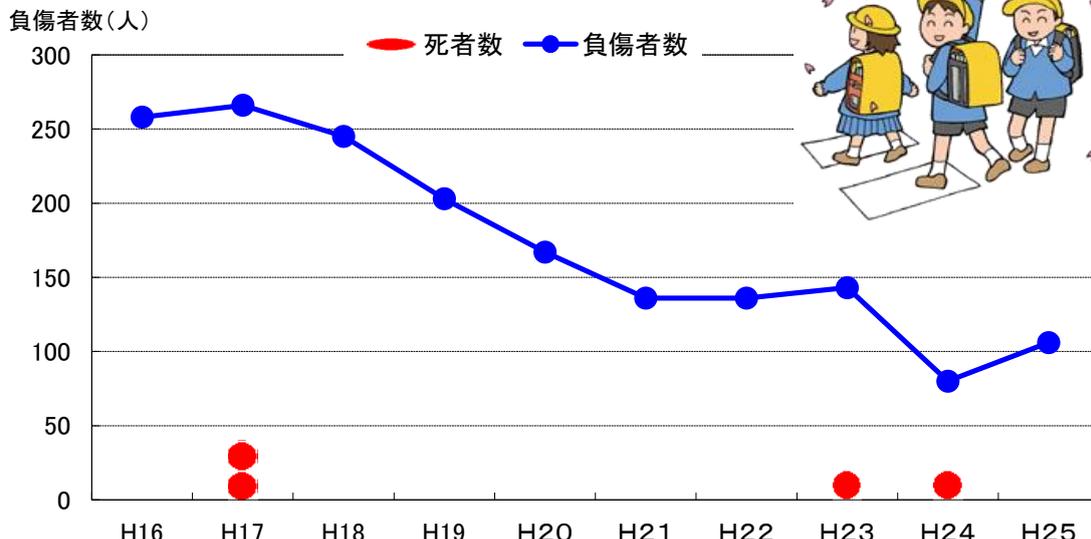


	自動車		自二車		原付車		自転車		歩行者	その他	合計
	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗			
死者数	11	2	1				1		9	1	25
負傷者数	905	345	33	1	32		169		129	5	1,619

3 子どもの交通事故

(1) 子どもの交通事故の推移

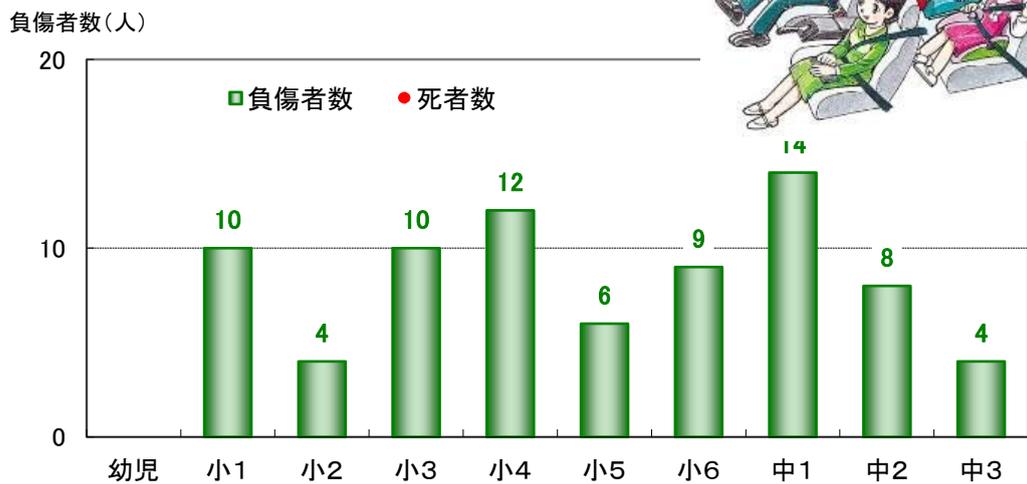
負傷者数は前年から増加し、106人となった。
子どもが死亡する事故は0件であった。



	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
死者数		2						1	1	
負傷者数	258	266	245	203	167	136	136	143	80	106

(注: 子どもは中学生以下)

(2) 学齢別死傷者数



	幼児	小学生						中学生			合計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
死者数											
負傷者数	29	10	4	10	12	6	9	14	8	4	106

(3) 状態別死傷者数

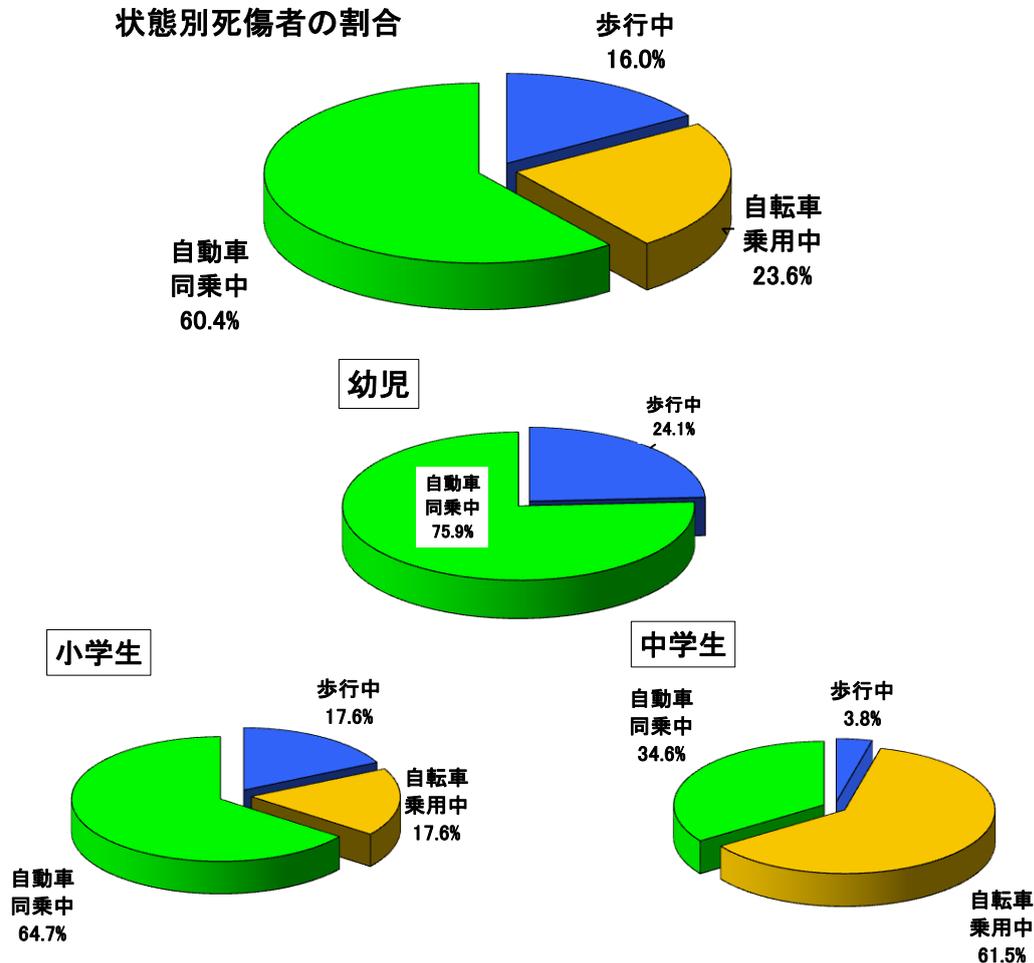
子どもの死傷者数を状態別で見ると、自動車同乗中が全体の60.4%で最も多い。

学齢別で見ると、幼児は、自動車同乗中が75.9%を占めている。

小学生は、自動車同乗中が64.7%を占める。

中学生は、自転車乗用中が全体の61.5%を占め最も多い。

状態別死傷者の割合



		歩行者	自転車		自動車		二輪車		合計
			運転中	同乗中	運転中	同乗中	運転中	同乗中	
死者数	幼児								0
	小学1~3								0
	小学4~6								0
	中学生								0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0
負傷者数	幼児	7			22				29
	小学1~3	7	4		13				24
	小学4~6	2	5		20				27
	中学生	1	16		9				26
	計	17	25	0	0	64	0	0	106

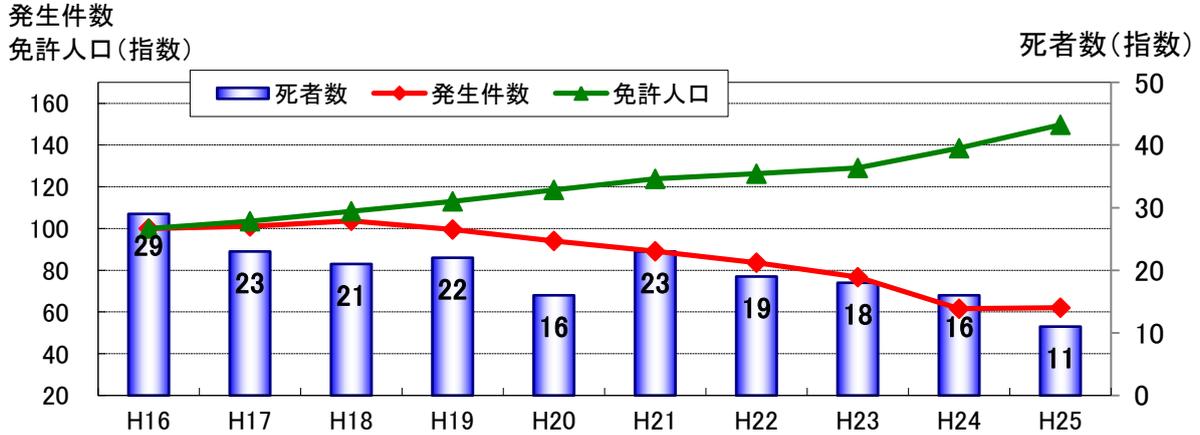
4 高齢者の交通事故

(1) 高齢者の交通事故の推移

高齢者の死者数は、平成22年以降4年連続で減少したが、全死者に占める高齢者の割合は44.0%と高率

高齢者が第1当事者の事故は、昨年より微増(前年比2件増)

高齢者免許人口は増加傾向で推移し、平成16年の約1.5倍



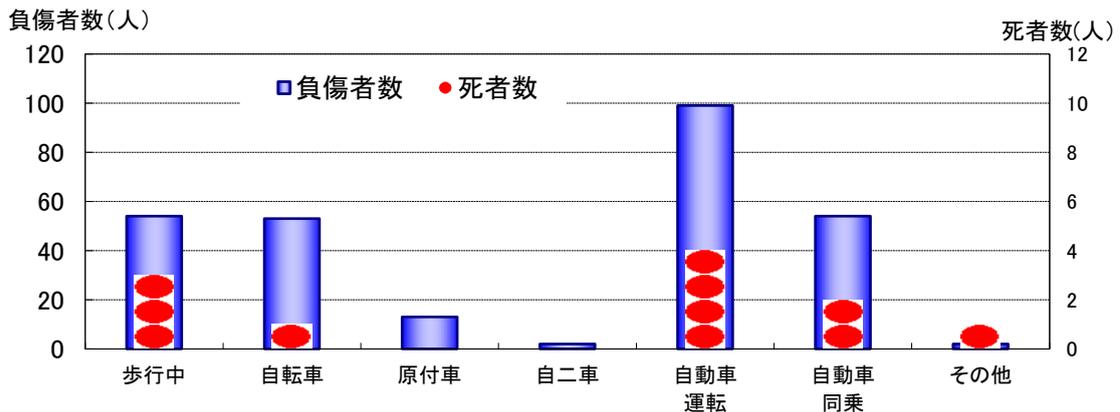
※発生件数は高齢者が第1当事者の事故件数。指数は平成16年を100とする。

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
発生件数	403	407	418	401	379	359	337	309	248	250
死者数	29	23	21	22	16	23	19	18	16	11
負傷者数	542	577	558	510	449	433	370	294	262	277
高齢者免許人口	54,022	55,917	58,491	61,063	64,029	66,881	68,218	69,711	74,822	80,882

(2) 状態別死傷者数

高齢者の状態別死者数は自動車運転中が4人で最も多い

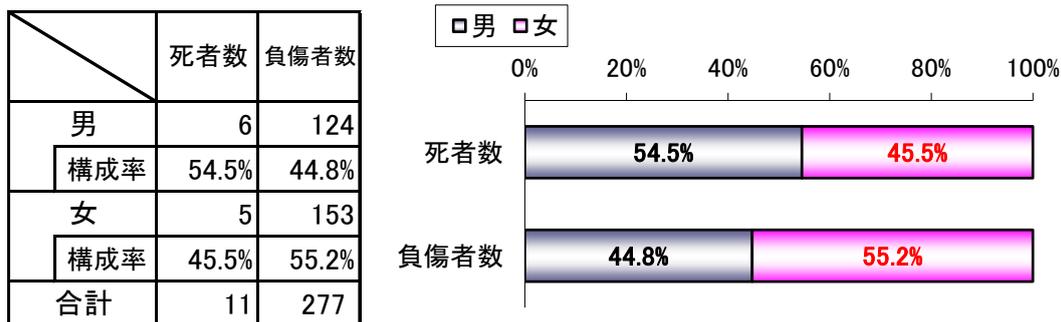
負傷者は、自動車運転中が最も多く35.7%を占めている。



	歩行中	自転車乗車中	原付乗車中	自二車乗車中	自動車運転中	自動車同乗中	その他	合計
死者数	3	1			4	2	1	11
構成率	27.3%	9.1%			36.4%	18.2%	9.1%	100%
負傷者数	54	53	13	2	99	54	2	277
構成率	19.5%	19.1%	4.7%	0.7%	35.7%	19.5%	0.7%	100%

(3) 男女別死傷者数

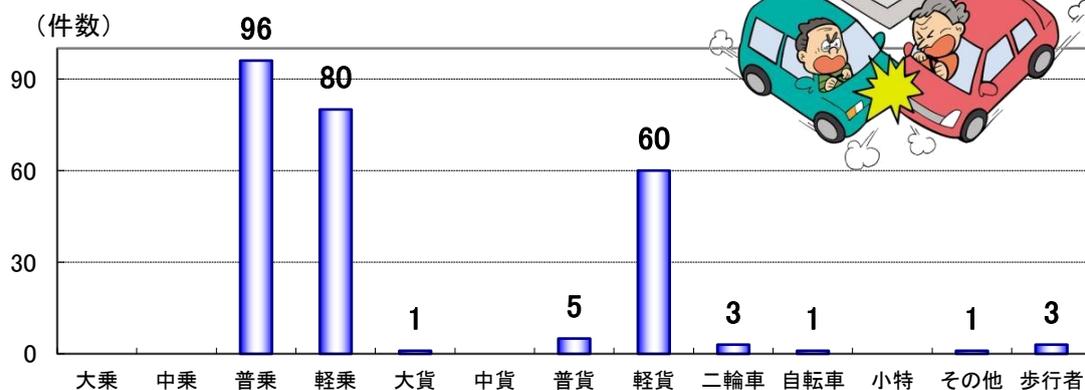
死者は男性が多く、負傷者は女性が多い。



(4) 高齢者(第1当)事故件数

高齢者が第1当事者事故の車種別では、普通乗用自動車が多、次いで軽四輪乗用自動車、軽四輪貨物自動車の順となっている。

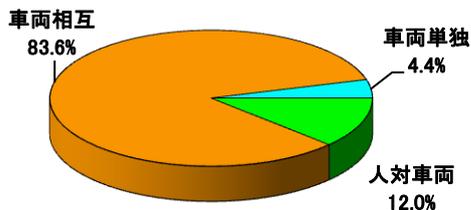
事故類型別では、追突が最も多い。



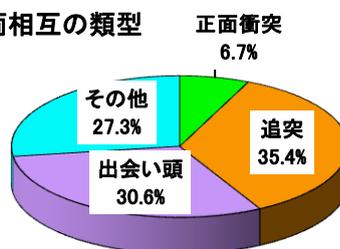
ア 第1当事者車種別・男女別

	大型乗用	中型乗用	普通乗用	軽四乗用	大型貨物	中型貨物	普通貨物	軽四貨物	自二車(含原付)	自転車	小特	その他	歩行者	合計
発生件数			96	80	1		5	60	3	1		1	3	250
男			76	45	1		5	48	2	1				178
女			20	35				12	1			1	3	72

イ 事故類型別



車両相互の類型

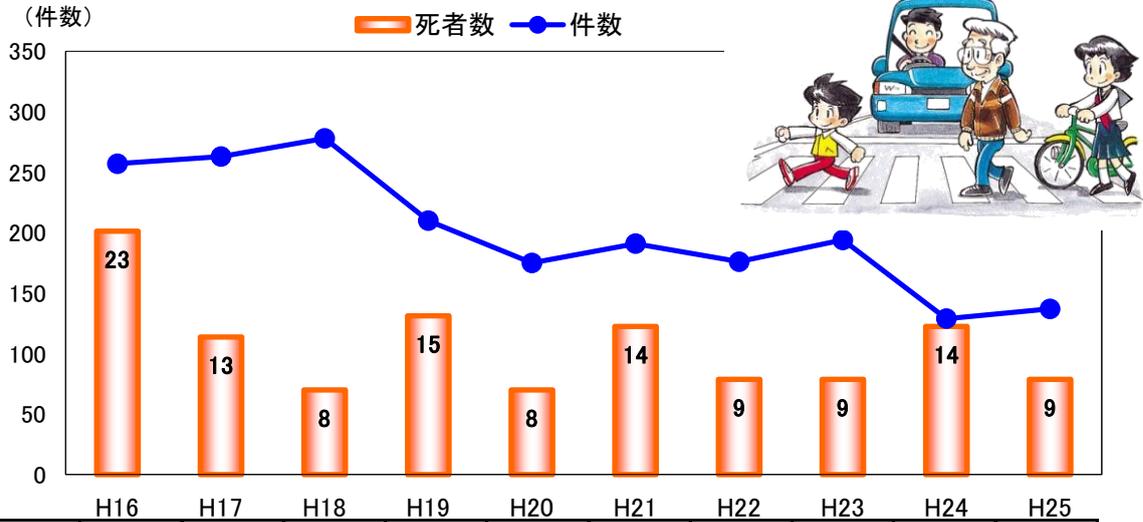


	人対車両		車両相互				単独	踏切	合計
	横断中	その他	正面衝突	追突	出会い頭	その他			
発生件数	19	11	14	74	64	57	11		250

5 歩行者の交通事故

(1) 歩行者の交通事故の推移

件数は前年に比べ微増し、死者数は平成17年から増減を繰り返している。



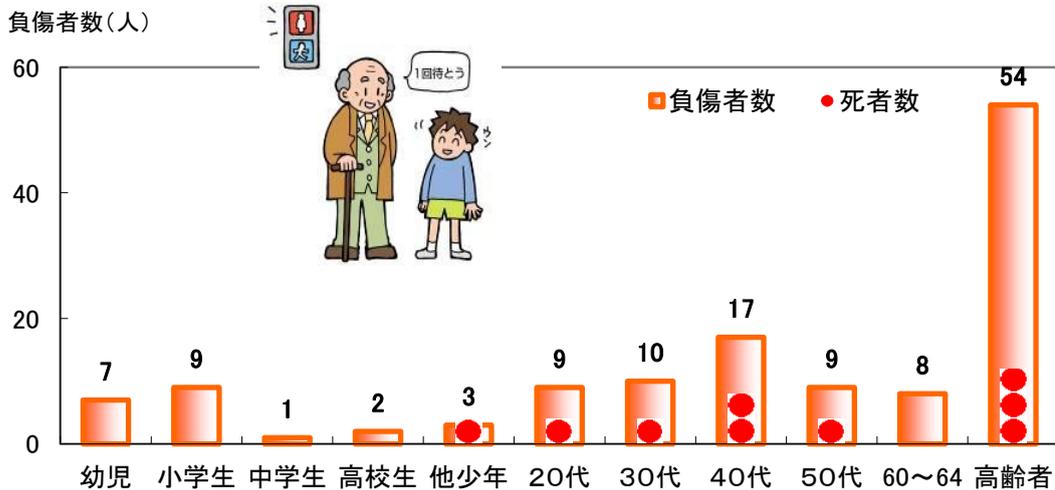
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
発生件数	257	263	278	210	175	191	176	194	129	137
死者数	23	13	8	15	8	14	9	9	14	9
負傷者数	249	250	276	196	174	182	173	190	116	129

※ 発生件数は歩行者事故の件数

※ 事故類型が「車両相互」で、3以上が歩行者の事故を含む

(2) 年齢層別死傷者数

死者・負傷者とも高齢者が多い

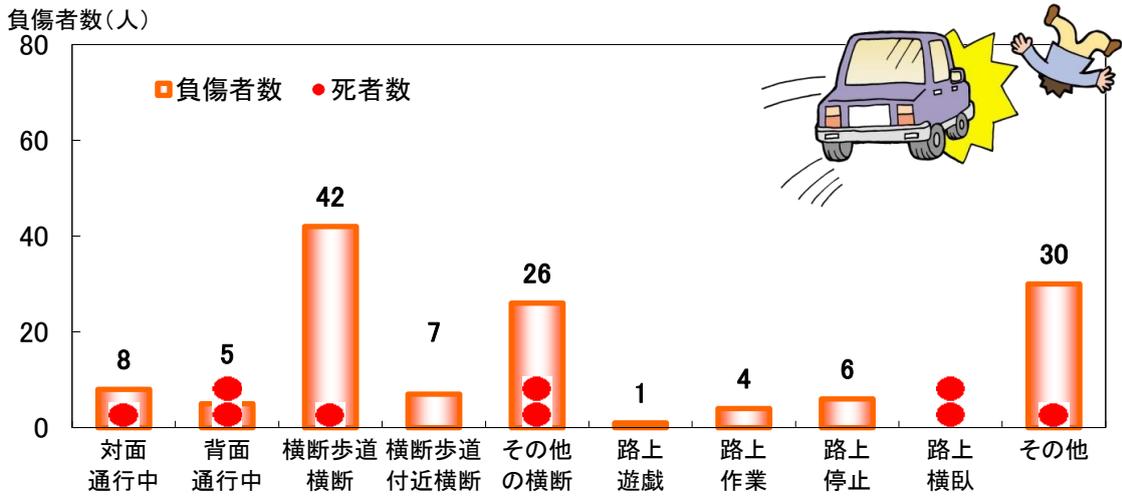


	幼児	小学生	中学生	高校生	他少年	20代	30代	40代	50代	60~64	高齢者	計
合計	7	9	1	2	4	10	11	19	10	8	57	138
死者数					1	1	1	2	1		3	9
負傷者数	7	9	1	2	3	9	10	17	9	8	54	129

※1件で複数の歩行者が負傷した事故が1件あり。

(3) 事故類型別死傷者数

発生件数、負傷者とも横断歩道横断中の事故が多い。



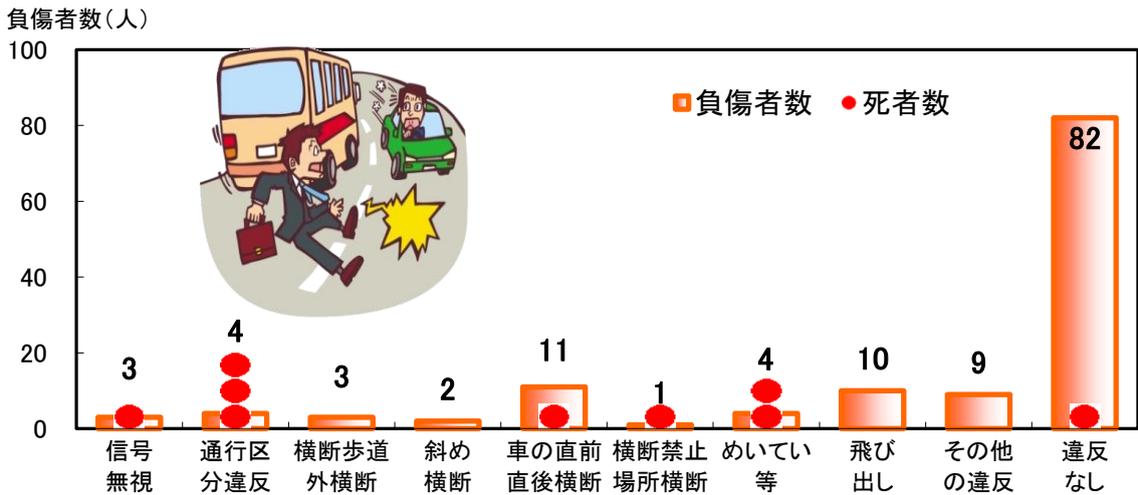
	対面通行中	背面通行中	横断歩道横断中	横断歩道付近横断	その他の横断	路上遊戯	路上作業	路上停止	路上横臥	その他	合計
発生件数	8	7	43	7	28	1	4	6		33	137
死者数	1	2	1		2				2	1	9
負傷者数	8	5	42	7	26	1	4	6		30	129

発生件数：歩行者事故の件数

(4) 歩行者の違反別死傷者数

死傷者の約40%に何らかの交通違反があった。

通行区分違反の死者は、全て車道通行であった。

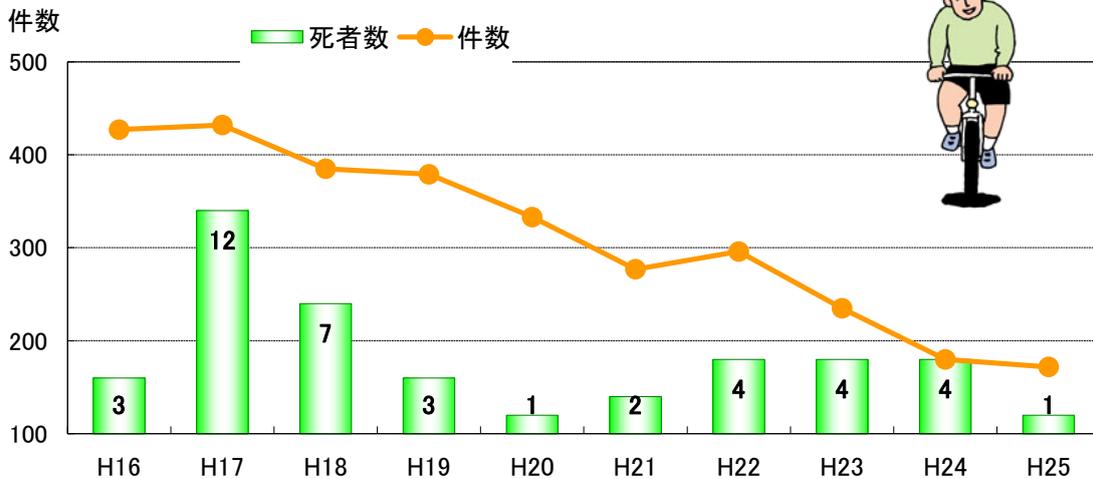


	信号無視	通行区分違反	横断歩道外横断	斜め横断	車の直前直後横断	横断禁止場所横断	めいてい等	飛び出し	その他の違反	違反なし	合計
死者数	1	3			1	1	2			1	9
負傷者数	3	4	3	2	11	1	4	10	9	82	129

6 自転車の交通事故

(1) 自転車の交通事故の推移

死者数は減少したが、発生件数はこの減少は僅かであった。

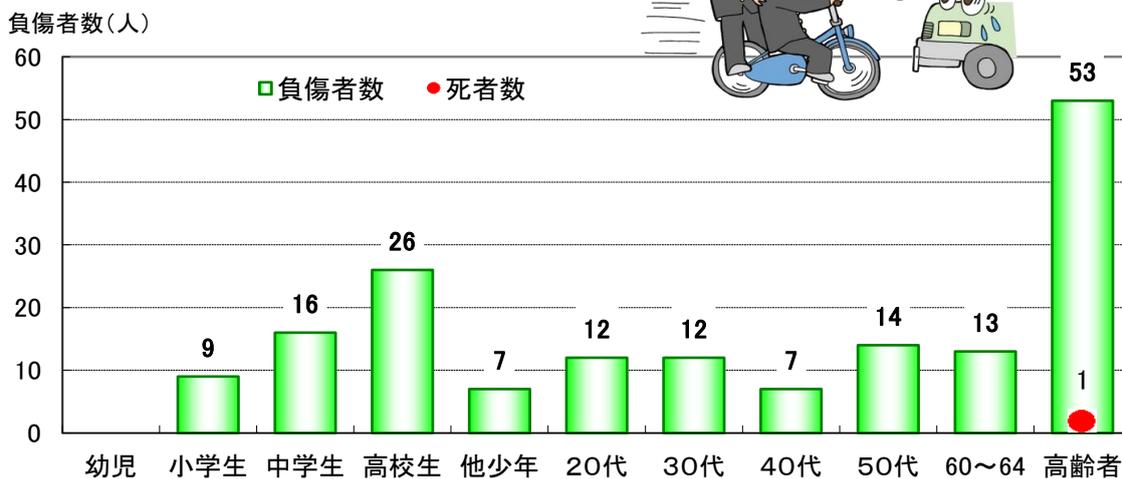


	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
発生件数	427	432	385	379	333	277	296	235	180	172
死者数	3	12	7	3	1	2	4	4	4	1
負傷者数	430	419	378	371	336	272	291	233	177	169

※ 発生件数は自転車事故の件数、死者数、負傷者数は自転車乗用中の人数

(2) 年齢層別死傷者数

年齢層別死傷者は、高齢者と高校生が多い。



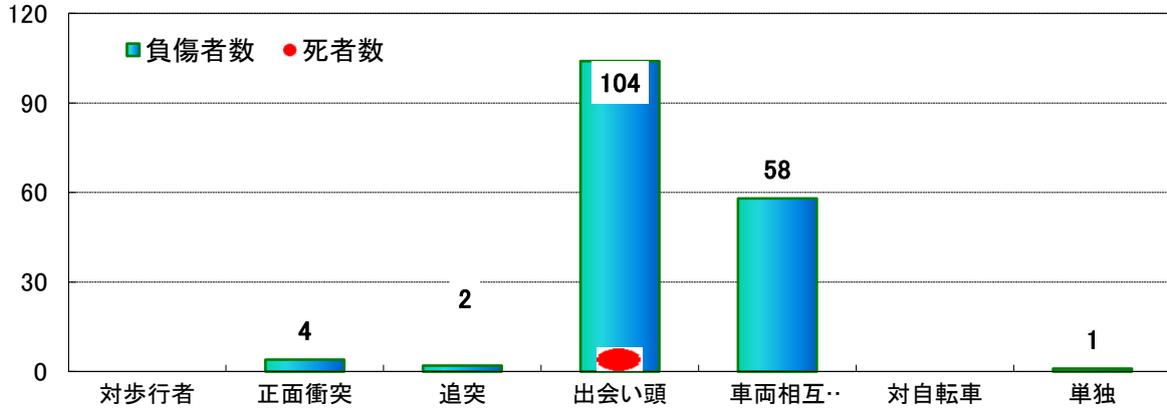
	幼児	小学生	中学生	高校生	他少年	20代	30代	40代	50代	60~64	高齢者	合計
合計		9	16	27	7	13	12	7	14	13	55	173
死者数											1	1
負傷者数		9	16	26	7	12	12	7	14	13	53	169
負傷なし				1		1					1	3

※ 1件2名の自転車乗用中負傷事故が1件あり。

(3) 事故類型別死傷者数

事故類型別では、出会い頭が最も多く、半数以上を占めている。

負傷者数(人)



	対歩行者	対車両事故				対自転車	単独	合計	うち同乗中
		正面衝突	追突	出会い頭	その他				
発生件数	3	4	2	104	58		1	172	
死者数				1				1	
負傷者数		4	2	104	58		1	169	

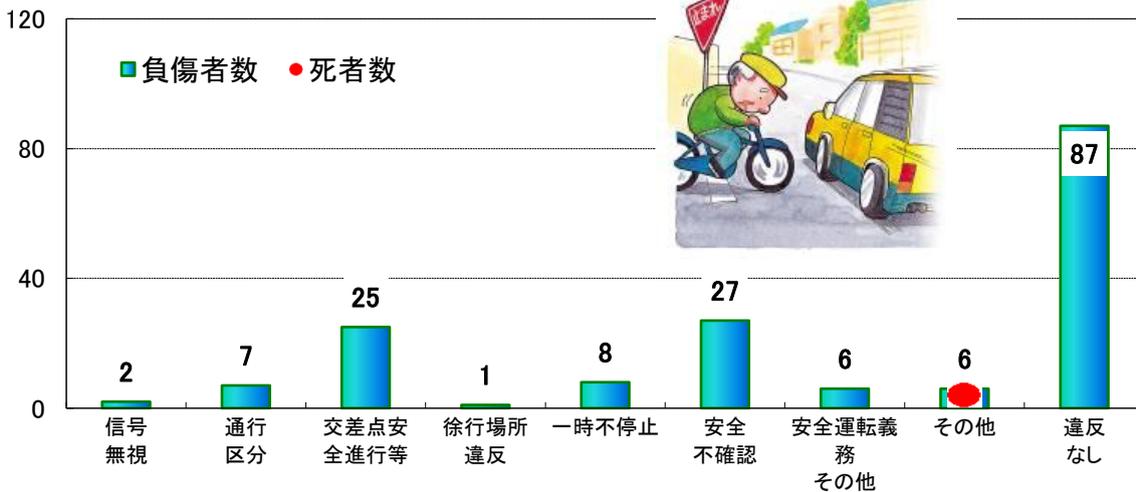
※ 発生件数は自転車事故の件数、グラフ中の「対歩行者」は事故類型でいう人対車両

※ 対自転車の件数は外数

(4) 自転車の違反別死傷者数

自転車の約48.8%に違反があり、安全不確認や、交差点での違反が多い

負傷者数(人)

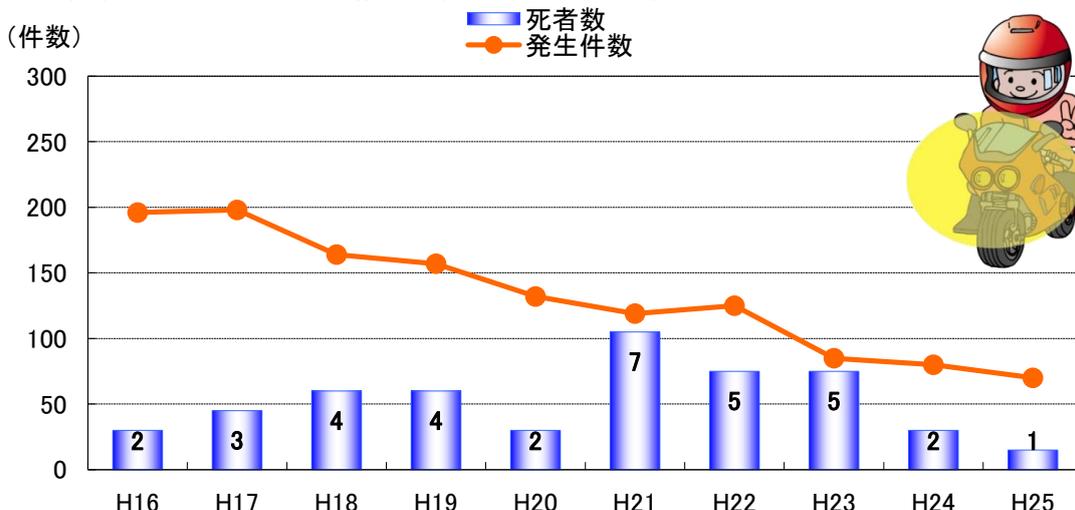


	信号無視	通行区分	交差点安全進行等	徐行場所違反	一時不停止	安全運転義務		その他	計	違反なし	合計
						安全不確認	その他				
死者数								1	1		1
負傷者数	2	7	25	1	8	27	6	6	82	87	169

7 二輪車(自動二輪・原付)の交通事故

(1) 二輪車の交通事故の推移

死者数は平成21年から大幅に減少し1人であった。

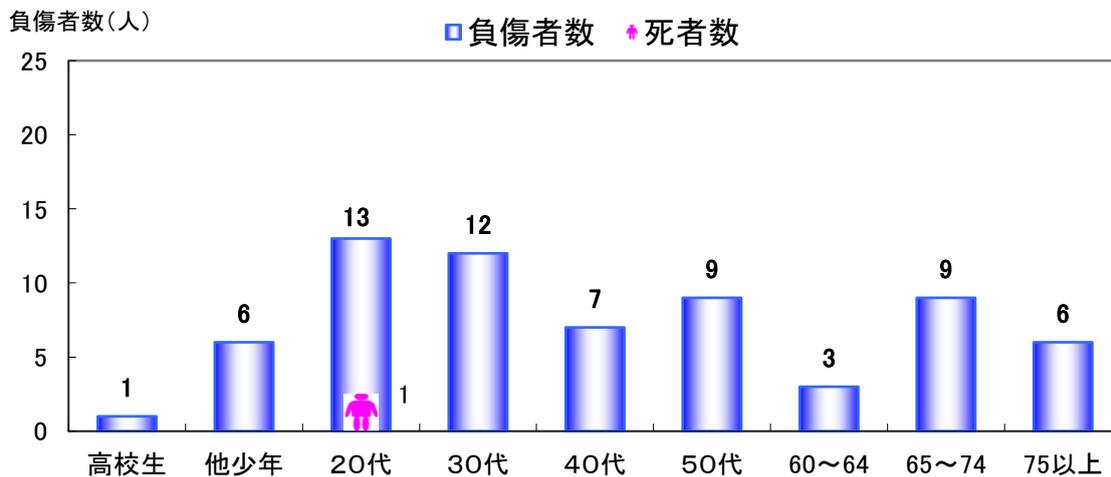


	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
発生件数	196	198	164	157	132	119	125	85	80	70
死者数	2	3	4	4	2	7	5	5	2	1
負傷者数	184	181	147	150	122	108	118	77	78	66

※ 発生件数は二輪車事故の件数、死者数、負傷者数は二輪車乗用中の人数

(2) 年齢層別死傷者数(二輪車乗車中)

死傷者数は、20代、30代が多い。

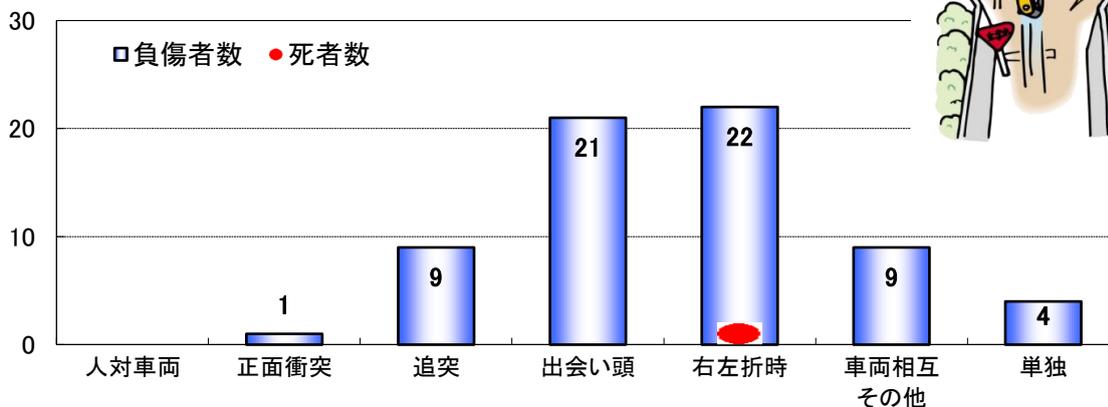


	高校生	その他の少年	20代	30代	40代	50代	60~64	高齢者	合計
合計	1	7	15	13	9	9	3	15	72
死者数	0	0	1	0	0	0	0	0	1
負傷者数	1	6	13	12	7	9	3	15	66
負傷なし	0	1	1	1	2	0	0	0	5

(3) 事故類型別死傷者数

事故類型別では、出会い頭と右左折時が全体の66.3%を占めている。

負傷者数(人)



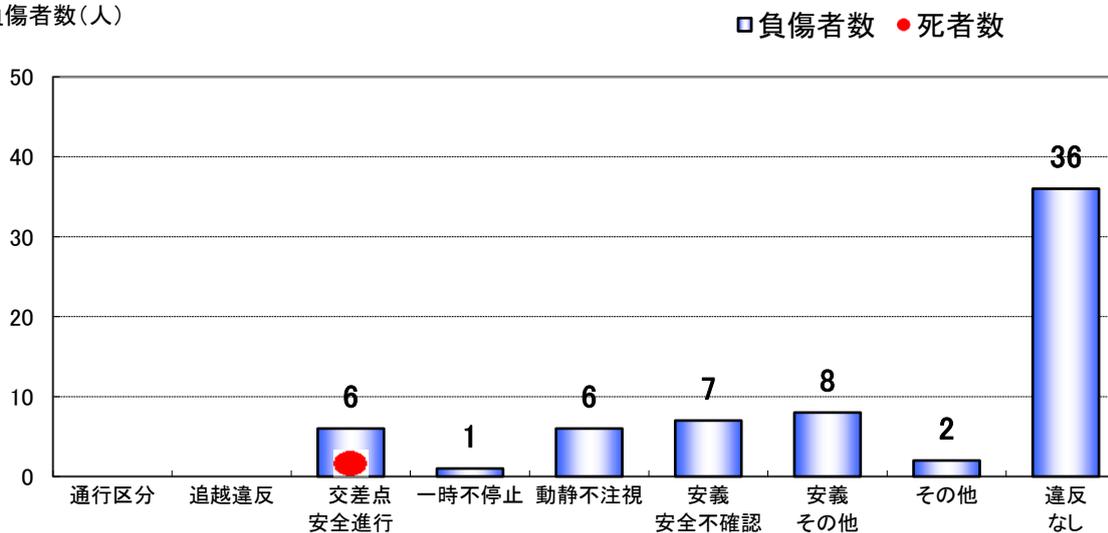
	人対車両	車両相互					単独	踏切	合計	うち同乗中
		正面衝突	追突	出会い頭	右左折時	その他				
発生件数	1	1	9	24	22	9	4	70		
死者数					1			1		
負傷者数		1	9	21	22	9	4	66	1	

※ 発生件数は二輪車事故の件数、死者数、負傷者数は二輪車乗用中の人数

(4) 二輪車の違反別死傷者数

二輪車の違反別では、安全不確認と動静不注視が多い。

負傷者数(人)



	通行区分	追越違反	交差点安全進行義務	一時不停止徐行違反	安全運転義務			その他	違反なし	合計
					動静不注視	安全不確認	安義その他			
死者数			1						1	
負傷者数			6	1	6	7	8	2	36	66

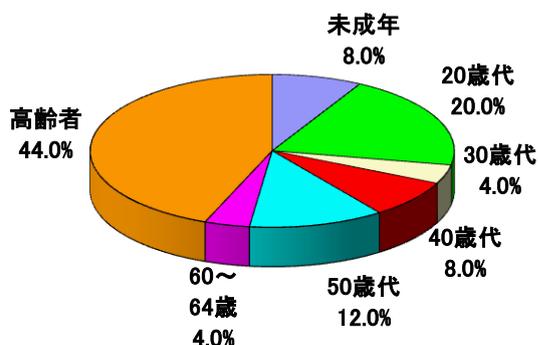
8 交通死亡事故発生状況

(1) 年齢層別・状態別死者数

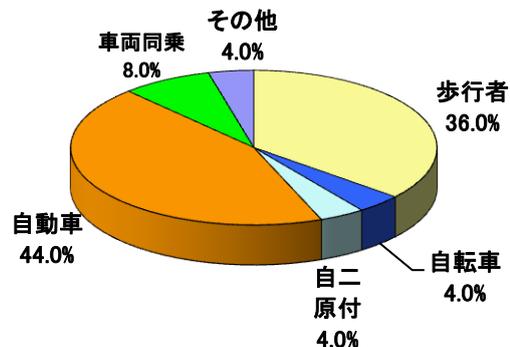
死者の年齢層別では、高齢者が11人(44.0%)、次いで50歳代の順となっている。

状態別では、自動車運転中が11人と最も多く、次いで歩行者の順となっている。

年齢層別死者



状態別死者



	子ども	高校生	他の少年	20代	30代	40代	50代	60～64歳	高齢者	合計
歩行者			1	1	1	2	1		3	9
自転車									1	1
自二・原付				1						1
自動車			1	3			2	1	4	11
車両同乗									2	2
その他									1	1
合計			2	5	1	2	3	1	11	25

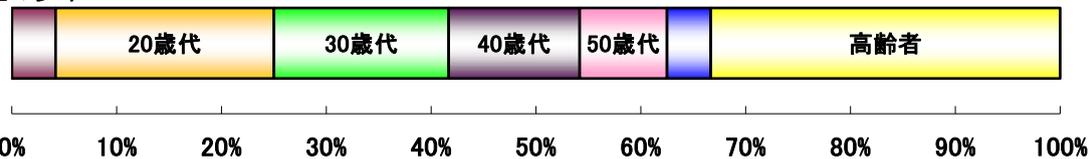
(2) 第1当事者の年齢層別・状態別件数

死亡事故の第1当事者の年齢別では、高齢者が8件で最も多い。

状態別では、自動車運転中が大半を占める。

他の少年

60～64歳

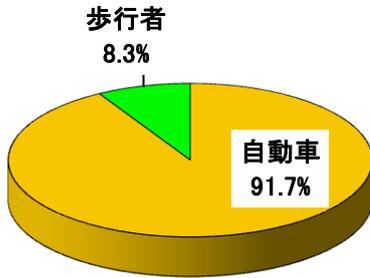


	高校生	他の少年	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
自動車		1	5	4	3	2	1	6	22
自二・原付									
自転車									
歩行者								2	2
合計		1	5	4	3	2	1	8	24

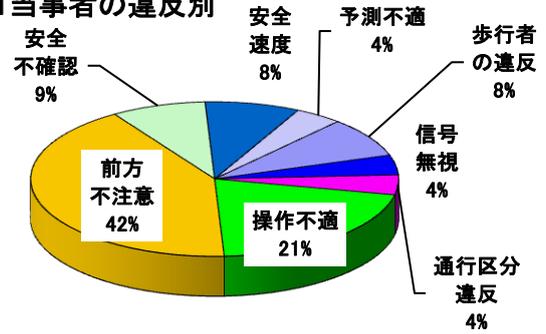
(3) 第1当事者の状態別・違反別件数

違反別では、前方不注意が最も多く、42%を占めている。

第1当事者の状態別



第1当事者の違反別



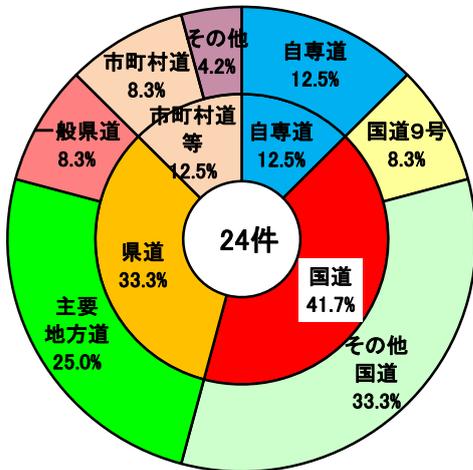
	信号無視	通行区分違反	歩行者妨害	操作不適	前方不注意	安全不確認	安全速度	予測不適	歩行者の違反	合計
件数	1	1		5	10	2	2	1	2	24

(4) 路線別・道路形状別件数

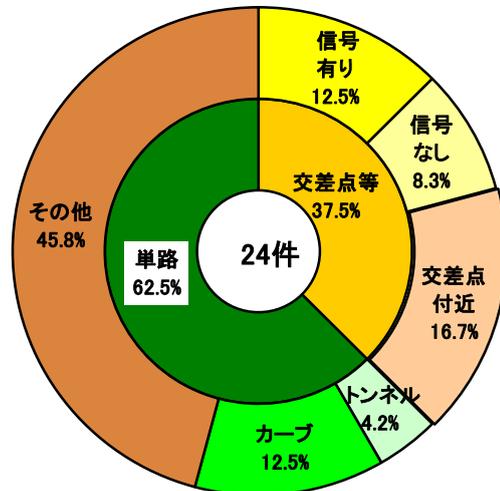
路線別では、国道が41.7%を占め最も多い。

道路形状別では、単路での事故が最も多く64.0%を占めている。

路線別死亡事故



道路形状別死亡事故



	高速道	自専道	国道				県道	市町村道	その他	合計
			9号	29号	53号	その他				
件数		3	2	1	1	6	8	2	1	24

	交差点等				単路				踏切	その他	合計
	信号有り	信号なし	交差点付近	計	トンネル	カーブ	その他	計			
件数	3	2	4	9	1	3	11	15			24

平成25年版
図解交通年鑑

鳥取県警察本部交通部交通企画課

鳥取市東町1-271 TEL 0857-23-0110
